



<目 次>

1. 実施結果概要.....	1
2. 登録大学生の分析.....	2
3. 実施プログラム概要.....	6
4. 成果と課題.....	13

1. 実施結果概要

(1) 実施期間

- ・平成28年4月～平成29年3月

(2) 事業名称

- ・学生地域定着推進広域連携事業（愛称：ジモガク）

(3) 登録者数

- ・305名

(4) 実施プログラム数

- ・67プログラム(一覧は別途記載)

(5) 加盟団体

- ・大学：酪農学園大学、札幌学院大学、北翔大学、北海道情報大学
- ・自治体：芦別市、赤平市、三笠市、南幌町、由仁町、長沼町、栗山町、江別市

(6) 広報活動：大学への出前講座、チラシ配布等による PR

地域ワークショップの運営

地域イベント参加・運営

インターンシップ

農業体験

ここで見つかるかも

江別市を含む8市町での地域活動・体験活動へ参加する学生を募集しています!

仲間や自分の将来はここで見つかるかもしれません

江別市にある北翔大学、札幌学院大学、酪農学園大学、北海道情報大学が連携して、江別市や周辺の市町で行われる地域活動と大学生をマッチングする事業がスタートします! 色々な地域の様々な分野で活躍する人や他大学の学生との「出会い」があり、将来の仕事につながるような「チャンス」もあり、さらに「おもしろい」と言ってくれる第二の故郷が見つかるなど、様々な可能性が満載の事業です。まずは活動情報を得るために、参加登録をしてみてください!

江別大学の大学生

活動地域
芦別市、赤平市、三笠市、南幌町、由仁町、長沼町、栗山町、江別市

地域活動・体験活動・農業体験活動への参加

マッチング

学生地域定着推進広域連携協議会

紹介

人との出会い
色々な地域の面白い人や、他大学の学生など、ここでしか出会えない人がいる!

チャンスとの出会い
ここで、将来の仕事につながるかも

故郷との出会い
自分を豊かにしてくれる第二の故郷が見つかる

お申し込みはこちらから

NPO法人えべつ協働ネットワーク
(伊予市地域定着推進広域連携協議会事務局に代わって活動)

〒047-8813 江別市東町1-16番地1号 1F (江別市立図書館2階) 江別市立図書館2階

TEL 011-374-1460
FAX 011-374-1461
Email info@center-i.jp

詳しくはこちら
ホームページ
アクセスはこちら

2. 登録大学生の分析

(1)登録者の属性

①傾向

平成 27 年度の試行から平成 28 年度の登録者数は、四大学で 305 名(同 27 年度卒業者は除く)となった。所属大学及び性別の内訳は表 2.1 に示す通りである。

②考察

所属大学については、講義でまとまった人数に PR をできたり、単位認定されたりする大学での登録者数が多い傾向にある。

学年の内訳は表 2.2 の通りであるが、2, 3 年生の割合が高くなっている。所属大学と同様に、講義での PR や、ゼミ活動を通じた参加が盛んな学年である。それに比して 1, 4 年生の割合が少ないのは、当該学年に向けた PR の機会が少なかったためと考えられる。

表 2.1 登録者数

(人)

	男	女	合計	%
札幌学院大学	76	34	110	36.1
北海道情報大学	38	10	48	15.7
北翔大学	15	20	35	11.5
酪農学園大学	59	53	112	36.7
合計	188	117	305	100

表 2.2 登録者の学年

(人)

	1 年	2 年	3 年	4 年	不明	合計
札幌学院大学	22	38	40	10	0	110
北海道情報大学	3	2	22	20	1	48
北翔大学	4	10	10	10	1	35
酪農学園大学	16	55	16	16	9	112
合計	45	105	88	56	11	305

(2)延べ参加人数・日数

①傾向

全 85 プログラムに参加した延べ人数と、延べ日数を表 2.3 に示す。情報大学のよ
うに登録人数の比率に比べ、実際に活動した人数の比率の方が高くなる場合がある。
これは、複数回参加する大学生がいることが要因である。

②考察

単位認定の条件は、複数回参加と、一度で済む場合がある。酪農学園では、一度
の参加が出席認定になるため、複数回の参加が少なかったと考えられる。

表 2.3 参加延べ人数及び参加延べ日数

	登録人数(A)	%	延べ日数(B)	%	延べ人数(C)	%
札幌学院	110	36.1	352	42.7	143	35.3
情報大学	48	15.7	174	21.1	95	23.5
北翔大学	35	11.5	141	17.1	58	14.3
酪農学園	112	36.7	158	19.2	109	26.9
	305	100.0	825	100.0	405	100.0

(3)個人別の参加回数

①傾向

登録者のうち、約 1/3 にあたる 105 名は、一度も活動に参加していない。同じく 2
回以上活動に参加しているのは 1/4 にあたる 74 名となった。

②考察

一度も参加しない登録者がいる一方で、一度でも参加すると 2 回目の参加率が 37%
であり、2 回参加すると 3 回目の参加率が 54%と上がる。登録するまでと、登録して
から 1 回目に参加するまでの心理的、物理的な壁を取り払う必要がある。

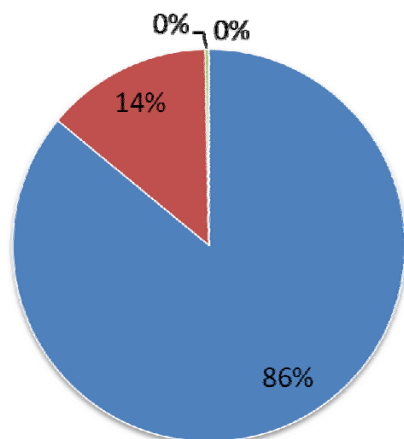
表 2.4 登録者数に占める 1～3 回参加者の割合

	人数	登録者数に占める%
登録人数	305	
1 回以上参加者数	200	65.6
2 回以上参加者数	74	24.3
3 回以上参加者数	40	13.1

(4)活動参加評価書

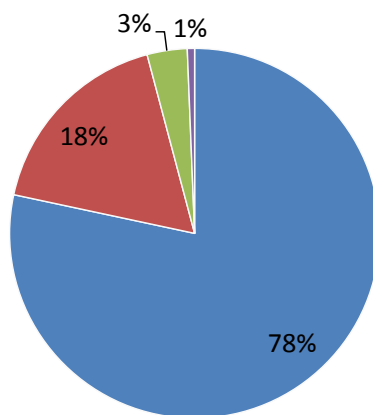
活動後に記入する活動参加評価書の集計結果は、以下の通りとなった。選択式のみを集計を以下に示す。

1. 自分にとって有意義だったか



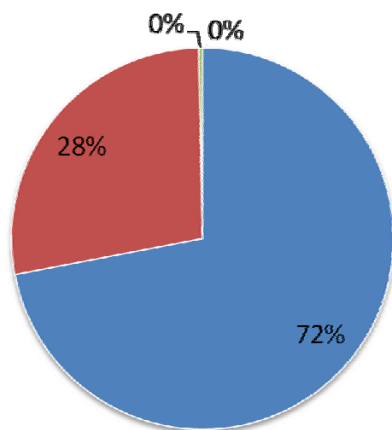
■ ① 有意義だった	86%
■ ② まあ有意義だった	14%
■ ③ あまり意義がなかった	0%
■ ④ 意義がなかった	0%

2. 地域を知り、良い出会いを得るきっかけになったか



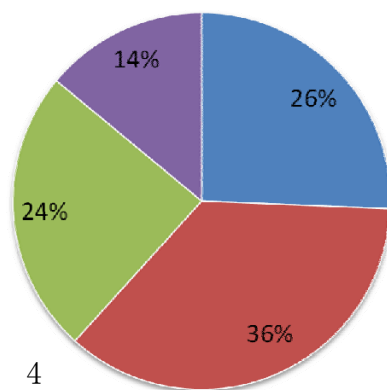
■ ① なった	78%
■ ② 少しなった	18%
■ ③ あまりならなかった	3%
■ ④ ならなかった	1%

3. 今後も参加したいか



■ ① 参加したい	72%
■ ② まあ参加したい	28%
■ ③ あまり参加したくない	0%
■ ④ 参加したくない	0%

4. 就職や進路、活動地域に対する意識は変わったか



■ ① 変わった	26%
■ ② 少し変わった	36%
■ ③ あまり変わらない	24%
■ ④ 変わらない	14%

(5)記述式回答 3. 実施プログラム

続いて、記述式のうち主な回答を抜粋して以下に示す。

質問項目	回答
①自分にとって有意義だったか	・日常生活、バイトでは得られない貴重な時間を過ごせた ・知らない土地でたくさんを知ることができた ・地域の人に親しくしていただけて、自分も楽しんで活動ができたから ・地域の人と触れ合うことで自分自身の視野を広げるきっかけとなったから ・社会人の方と長時間に渡り話すことができ、普段よりも踏み込んだことが聞けた。
②地域を知り、良い出会いを得るきっかけになったか	・今回の活動に参加させていただいたことで、炭鉱のことや、山が多く自然が身近にある事など、深く知ることが出来ました。 ・市役所に勤めている方から直接お話を伺うなどの経験ができたので。 ・自分の地元にも、こんなに元気な子ども達がいるのを知れてよかった ・今まで地名しか知らなかったが、お店の方や商店街を見て町の魅力を知れて良かった。 ・別の分野の大学の方と一緒に活動することで、良い体験になったから。 ・今回で3回目で、前回会った子が今回覚えていてくれてとても嬉しかったです
③今後も参加したいか	・大学の授業では学ぶことのできない活動ができるから。 ・もっと自分にとりないところを地域活動を通して学んでいきたい。 ・色々な地域の特色を知りたいと思いました ・今回すごく楽しく出来たので、またこのような活動に参加したいと思いました ・楽しかったのはもちろんのこと、大人の方と意見を交えることができたので ・地域活動が誰かのためになっていると思うとまた参加したいです。
④就職や進路、活動地域に対する意識は変わったか	・就職とか、自分では100%ない、考えられなかったことが今日のお話で「アリなのかも」と思いました。 ・楽しそうな役場の人達を見て、こんな町に就職したいと思った。 ・都会の就職ばかり考えていたが、地域も良いなと感じた。 ・地域貢献するような進路もいいなと少し考えが変わりました。 ・高齢者の分野で福士の分野で働きたいと思っていましたが、この活動に参加してその思いがより強くなった。 ・自分の中での問題意識が見えてきたので、将来が少し明確になりました。 ・より地域とかかわる職に就きたいとおもった

3. 実施プログラム概要(抜粋)

【江別市】

事業名	チョークアート制作	
日程	4/29(金)～7/15(金)、10/12(水)～28(金)、12/26(月)	
のべ人数	16	
概要	市内商業施設 EBRI 壁面での定期的なチョークアート制作。市内デザイナーと美術専攻の学生が参加	

事業名	しらかば夏まつり	
日程	8/6(土)～7(日) 6日 14:00～21:00 7日 10:00～21:00	
のべ人数	16	
概要	野幌地区のしらかば自治会主催夏まつりの運営補助。子ども縁日、売店の企画・運営	

事業名	静苑ホーム秋のイベント	
日程	9/27(火) 10:00～14:30	
のべ人数	3	
概要	高齢者施設静苑ホームでの施設入居者向けイベントのサポート	

【芦別市】

事業名	日本プロ野球 OB ベースボールサマーキャンプ in 芦別	
日程	8/8(月)～10(水) 8 日 11:00 から 10 日 13:00 まで	
のべ人数	6	
概要	元プロ野球選手による野球教室の補助	

事業名	地域おこし協力隊と連携した観光施策の検証①(夏季)	
日程	8/24(水)～26(金) 24 日 11:00 から 26 日 13:00 まで	
のべ人数	15	
概要	地域おこし協力隊と連携し、新たな観光資源の検証と意見交換会(夏季)	

事業名	地域おこし協力隊と連携した観光施策の検証②(冬季)	
日程	2/20(月)～22(水) 20 日 11:00～ 22 日 13:00	
のべ人数	10	
概要	地域おこし協力隊と連携し、新たな観光資源の検証と意見交換会(冬季)	

【赤平市】

事業名	野生動物生態調査	
日程	6/15(水) 7/5(火)	
のべ人数	12	
概要	野生生物の生息フィールド調査	

事業名	企業インターンシップ	
日程	8/26(金) 8/29(月)～9/2(金)	
のべ人数	42	
概要	赤平市内企業へのインターンシップ。赤平製紙(株):2名、(株)北海道加ト吉:1名、(社副)北海道光生舎:2名、トルク精密工業(株):1名	

【三笠市】

事業名	地域を深掘り！学生地域プロモーション	
日程	10/5(水)～6(木)	
のべ人数	25	
概要	JP01と連携した地域資源の深掘り取材。記事作成等プロモーションに取り組む	

【南幌町】

事業名	夏休み自然体験学習	
日程	8/2(火)～5(金)	
のべ人数	12	
概要	ニセコ町をベースにしたキャンプ学習	

事業名	総合計画策定作業ワークショップ	
日程	10/22(土) 14:00～17:00	
のべ人数	3	
概要	総合計画策定作業におけるワークショップへの参加	

事業名	小学生の放課後・休日支援	
日程	12/23(金)26(月)～27(火) 9:00～12:00	
のべ人数	5	
概要	冬休みに開催する「遊びの達人特別教室」の運営ボランティア、簡単な学習サポート	

【由仁町】

事業名	全町自治区対抗ソフトボール大会	
日程	7/17(日) 7:00～16:00	
のべ人数	7	
概要	自治区対抗ソフトボール大会のスタッフ	

事業名	由仁町夏祭りムカデ競争参加	
日程	7/31(日) 7:00～15:00	
のべ人数	6	
概要	由仁町夏祭りの運営補助と恒例行事ムカデ競争への出場	

事業名	ゆっくり由仁ウォーキング	
日程	10/10(月) 9:30～13:00	
のべ人数	6	
概要	由仁町教育委員会ほかが主催するウォーキングイベントに参加し、住民と親睦を深める	

【長沼町】

事業名	夕やけ市(第 102 回～第 105 回)	
日程	6/25(土)、7/23(土)、8/27(土)、 9/24(土) 14:30～20:00	
のべ人数	31	
概要	市街地を歩行者天国にするイベント 「夕やけ市」のスタッフとしてイベント 会場補助	

事業名	シャッターペイント	
日程	8/29(月)～9/12(月)	
のべ人数	11	
概要	商店街のシャッターへの絵付け	

事業名	ローカルワークジョブセッション「長沼で働く」	
日程	2/10(金) 10:00～17:00	
のべ人数	12	
概要	長沼町に就業後、5年未満の様々な 本町の職員等とのワークショップ	

【栗山町】

事業名	健康づくり推進ボランティア	
日程	7/28(木) 13:00～16:00	
のべ人数	3	
概要	町独自の取組み「健康マイレージ」普及啓発、「笑いヨガ」実践等	

事業名	くりやま手作りサマースクール	
日程	8/4(木)～5(金) 10:00～17:00	
のべ人数	6	
概要	DIY 工房設置へ向けたワークショップ	

事業名	くりやま匠まつり	
日程	8/6(土)、9/13(火) 9:30～16:00	
のべ人数	8	
概要	会場運営補助など	

4. 成果と課題

(1) 大学生

成果	課題
①意識の変化 就職や進路、活動地域への意識の変化では、6割以上が何らかの変化を感じている。今までは都市部での就職しか考えていなかったが、このような地域での就職も選択肢にしたなどの意見も見られ、大学外での活動がその後の大学生活に良い影響を与えることが分かった。	①未参加学生 登録者のうち約1/3が活動に参加していないことが分かった。日程が合わない、興味の活動がない、参加する勇気がない、情報が届いていない、などの原因が考えられるが、それを確かめることが重要である。一度でも参加すると再度参加する確率も高くなることから、登録→参加のハードルを下げられる工夫が求められる。

(2) 受入地域

成果	課題
①域を知ってもらう 活動の種類によらず、地域を知ってもらうきっかけになった、という声が多く聞かれた。参加学生からも、その地域の人と話すことで地域を知れた、という意見があった。	①交通の便 遠距離であったり、交通手段が限られたりする場合は、大学生が参加を敬遠する傾向にある。また、交通機関の事情により、最後まで参加できなかつたり、活動スケジュールに制限がかかつたりするため、スタッフによる送迎対応が欠かせないことも多い。

(3) 運営

成果	課題
①大学との連携 試行期間に比べ、大学側の協力を得てのPR活動を複数回行えた。これらのPRを行うことで、登録者数の増加にもつながっている。	①参加学生の確保 特にお盆時期は、夏祭り等で各地域から学生を求められる一方で、大学はテスト期間の前後と夏休みの帰省が重なり、参加学生が少なくなる。こうしたミスマッチの解消は大きな課題である。
②無事故 85 プログラムを実施する中で、無事故で終わることができた。これも受入自治体の各担当者の細かな配慮のお蔭と考えられる。	②装備 試行の時にも課題であったが、現場仕事に適さない服装の学生もいる。また、高い確率で軍手は持参していないので、現地で用意しておくことが必要である。防寒対策も手薄なことが多いが、その場合は体調管理に注意し、無理をさせないようにしたい。